

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年8月1日 策定

平成31年4月1日 修正

成果報告 令和元年 5月31日 報告

担当課

住宅課

補助金等の名称	定住化促進支援事業補助金(中古住宅リフォーム支援事業補助金)
---------	--------------------------------

予算科目	一般会計	款	7	項	4	目	1
予算事業名	住生活基本計画推進事業						
実施計画の位置づけ	良好な住環境の整備に努めます						

補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし						11,384 千円
交付先	個人						
支出根拠規定	佐倉市中古住宅リフォーム支援事業補助金交付要綱						

補助の目的	空き家の利活用を図り促進するとともに、市の定住人口の維持・増加を図り、地域の活性化に資する
補助の効果	空き家の利活用が図られることにより、空き家の減少、定住化促進、地域活性化が図られる
補助対象事業の具体的内容	市内の中古住宅を居住用として親族以外から取得し、おおむね1年以内にリフォームを行うものに対し、リフォームに係る経費の1/2以内(上限50万円)を交付する。
対象経費及び補助率	リフォームに係る経費の1/2(上限50万円)
補助金額の根拠	中古住宅の購入者は、状態にもよるが、水回りを中心にリフォームを行う傾向がある。水回りの試算でも浴槽、台所、トイレを全て交換すると100万円は超えると予想できるため、上限を50万円とした。(うち、1/2は国補助)
備考	
1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由	
その他	
補助期間	平成27年 4月 1日～令和 2年 3月31日

補助事業計画書・成果報告書－２

		担当課	住宅課	
補助金等の名称		定住化促進支援事業補助金(中古住宅リフォーム支援事業補助金)		
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	6,500	50万円×13件	6,497	13件の補助を実施
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	補助金受付開始後、約10日で予算額に達し、受付終了となりました(達成率約100%)。また、受付終了後も問い合わせがありました。今後は、補助件数を増やし、中古住宅の購入の促進を進め、空き家の減少、定住化促進、地域活性化を図ります。			
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	7,000	50万円×14件	7,000	15件の補助を実施
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	補助金受付開始後、10日までに予算額を超える21件の申請があり、公開抽選にて交付決定を行いました(達成率約100%)。受付終了後も多数の問い合わせがありました。次年度以降も、補助件数を増やし、中古住宅の購入の促進を進め、空き家の減少、定住化促進、地域活性化を図ります。			
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	20,000	50万円×40件	23,812	52件の補助を実施
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	前年度の申請状況から、当初予算40件を前期30件、後期10件と想定し募集を実施、前期募集分をほぼ一月で受付した為、20件分の追加補正を行った結果、抽選を行うことなく申請者全員に交付決定することができました。今後も補助件数を増やし、中古住宅の購入の促進を進め、空き家の減少、定住化促進、地域活性化を図ります。			
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	30,000	50万 × 60件	25,302	52件の補助を実施
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	前年度の申請状況から、当初予算60件を確保、その結果結果、抽選を行うことなく申請者全員に交付決定することができました。今後も補助件数を増やし、中古住宅の購入の促進を進め、空き家の減少、定住化促進、地域活性化を図ります。			
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	40,000	50万 × 80件		
	成果達成状況の分析と今後の方策			
計画期間終了後の最終的な目標値	空き家利活用を促進させ、定住人口の維持・増加を目指す			
計画期間終了後の最終的な成果値				